

## 単元名 表とグラフ

配当時間 9時間

- 単元の目標 (1) 資料を分類・整理して表にまとめる方法や、棒グラフに表す方法を理解し、表や棒グラフに表すことができる。
- (2) 表や棒グラフから、資料の特徴を読み取ることができる。
- (3) 身近な事象について、目的に応じて表や棒グラフにまとめたり、読んだりしようとする。

## 標準的な展開例

03040109\_001

【準備等】アンケート用紙，グラフ用紙，定規

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 好きな遊びのアンケート調査を整理する方法とそのよさに気付き，資料を表にまとめる。[p.74・p.75]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○好きな遊び調べの結果を分かりやすく整理するにはどうすればよいか考える。</li> <li>○単元の学習課題をつかむ。</li> <li>★表やグラフを使ってわかりやすく整理するしかたを考えていこう。</li> <li>○「正」の字をかいて表に整理する。</li> </ul> <p>○正の字で表した表を，数字に直して整理する。</p> <p>○表を見て，読み取ったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな人が一番多い遊び</li> <li>・2番目に好きな人が多い遊び など</li> </ul> <p>2 棒グラフの意味と見方や読み方を考える。[p.76・p.77]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ぼうグラフについて調べよう。</li> <li>○棒グラフについて知る。</li> <li>・このようなグラフを棒グラフという。</li> <li>・縦軸・・・人数</li> <li>・横軸・・・種類</li> <li>・一目盛りは1人分を表す。</li> <li>○棒グラフを読み取り，人数が表と合っているかどうかを確かめたり，多い順に言ったりする。</li> <li>○p.77のだいちさんが作った棒グラフを見て，工夫をしている部分を説明する。</li> </ul> <p>○月～金曜日で学級図書から借りられた本の数を読み取る</p> <p>3 1目盛りの大きさが1ではない棒グラフの見方や読み方を考える。[p.78・p.79]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○好きな給食調べをして，まとめたグラフを調べる。</li> </ul> <p>○1目盛りの大きさが1ではないグラフを読み取る。</p> <p>○横型の棒グラフについて知る。</p> <p>○1目盛りの大きさに気をつけて，グラフを読む。</p> <p>4 棒グラフのかき方を理解し，実際にかく。[p.80・p.81]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ぼうグラフをかこう。</li> <li>○棒グラフの書き方を知る。</li> </ul> <p>○好きな遊び調べを棒グラフに表す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読みたい本の種類」「道路を通る車の種類調べ」などを調べ，まとめる方法もある。</li> <li>・第2学年の最初に「好きな遊び調べ」をしたことを想起させる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正の字の書き方や意味について確認する。表に書く際は，小声で読み上げさせ「正」の字をかくように指示する。読み終えたカードに印をつけさせるようにする。</li> <li>・他の題材でアンケートを行い，用紙に書かせて回収する。教師が読み上げ，「正」の字をかかせる。記録しておく，次時以後の発展学習等でその表を役立てることができる。</li> <li>【評】表に整理する活動を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・正の字では数がすぐに読み取れないことにふれ，数字で表す表の必要性に気付かせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表よりも数量の多少がよく分かる表し方はないかという動機から，棒グラフを導入する。</li> <li>・前時に作った表を提示し，数量の大小がひと目で分かる方法を考えさせる。</li> <li>・棒グラフを見せ，棒グラフの見方について理解させる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縦の目盛りが広かったり，人数の多い順にグラフが並んでいる方が見やすいことを確認する。</li> <li>【評】グラフの工夫を読み取る活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・曜日のように順序が決まっているときは，多い順に並べないこともあることを確認する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数が少ないものはまとめて「その他」にすることや，「その他」は数が多くても，最後にかくことを確認する。</li> <li>・1目盛りは2，5，10の場合があることを確認する。その他の値では，グラフがかきづらいことにも触れる。</li> <li>・縦軸と横軸が反対になっていることに気付かせる。</li> <li>・2目盛りで10であることから，計算して1目盛りが5であることを求められることを理解させる。</li> <li>【評】グラフを読み取る活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・前時までの学習を基に，どんなことに注意してかけばよいか，見通しをもって作業させる</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表をグラフにすることのよさについて簡単に話し合うとよい。</li> <li>・「ぼうグラフのかき方」を利用し，手順を確認させてからかかせる。また，定規を必ず用いてかくように指導する。</li> <li>・グラフ用紙を教師が用意し，手順を確かめな</li> </ul>

5 1目盛りが1でない棒グラフをかくことができる。[p. 82・p. 83]

- 本時の学習課題をつかむ。
- ★1目もりをどれだけにすればよいかを考えて、ぼうグラフをかこう。
- 水筒に入る水のかさを棒グラフに表す。

○家で学習した時間を棒グラフに表す。

○身の回りで棒グラフが使われている場面を見付ける。

6 共通の項目をもつ複数の表を、1つの表にまとめる方法を知る。[p. 84]

- 月毎のけが人を表した、3つの表を見て気付いたことを話し合う。

- 本時の学習課題をつかむ。
- ★3つの表を1つの表に整理しよう。
- 3つの表を1つの表にまとめる。

○各場所でけがをした人数や、けがをした合計の人数を求める。

7 2つの棒グラフから情報を読み取る。[p. 85]

- 本時の学習課題をつかむ。
- ★ぼうグラフのくふうをよみとろう。
- 1組と2組を合わせて、一番人気がある遊びを見付ける

- 2つのグラフを見て、気付いたことを話し合う。
  - ・「あ」のグラフは、それぞれのクラスで人気の遊びが分かりやすい。
  - ・「い」のグラフで表すと、3年生で一番好きな遊びがボール遊びだと分かりやすい。 など

8 棒グラフの1目盛りあたりの大きさに注目して、相手に伝わりやすいグラフを考える。[p. 86・p. 87]

- けがの人数調べのグラフを読み、気付いたことを話し合う。
- さくらさんとかいとさんがかいたグラフを比べて、気付いたことを話し合う。
- 1目盛りの大きさが異なる、2つのグラフを比べる。

○2つのグラフをまとめる方法を考える。

9 単元を振り返り、確認問題に取り組む。[p. 88・p. 89]

- 「たしかめよう」に取り組む。

○学習の振り返りを書く。

がらかく。

【評】棒グラフをかく活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・1目盛りが1mLだと、目盛りが多くて用紙に入りきらないことを想像させる。

・1目盛りを100mLとすると、教科書のグラフ用紙に書き込めることに気付かせる。

【評】1目盛りの大きさを考えながらグラフをかく活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

・縦軸が10目盛り程しかないことから、1目もりを10分とすると、区切りよく表すことができることを確認する。

・学校からのお便りなどにも多く使われていることに気付かせる。

・1つの表にまとめることで、比較しやすくなることを理解させる。

・校庭以外の場所も確かめさせ、もっと表を見やすくする方法を考える必要性を実感させる

・「けがをした場所」が共通しているとまとめやすいことに気付かせる。

・教師が表の枠を用意する。

【評】3つの表を1つの表にまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・完成した表を使い、場所ごとのけがをした人数を求めさせ、表のよさを実感させる。

・2つの棒グラフを比較することで気付いたことを発表させる。

・2つのグラフを提示し、気付いたことを話し合わせる。

・どちらのグラフを読み取ると、すぐに分かるかを話し合わせる。

・それぞれのグラフの特徴についてだけでなく2つのグラフを比較して気付いたことも発表させる。

【評】棒グラフを読み取る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

・1目盛りの大きさを5人とすると端の数が読み取りづらいことに気付かせる。

・この場合1目盛りの大きさを2人とすると読み取りやすいことに気付かせる。

・複数のグラフを比較するときは、1目盛りあたりの大きさをそろえた方がよいことを確認する。

【評】2つのグラフを比べる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

・第6時で学んだ「あ」のグラフのようにまとめると比べやすいことを確認する。

・個別指導を通して、単元の学習内容の定着を図る。

・自己評価をし、不十分なところは教科書で振り返らせる。

【評】問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・表とグラフについて分かったことやできるようになったこと、もっとやってみいたいことなどを書かせる。

## 【 備 考 】

本単元では、日常生活場面の中から資料を収集し、そのデータを分類・整理をする場を見いださせ、それを実際に資料として表やグラフで表すことのよさを実感させることが大切である。

また、作成した表やグラフの内容のよみ取りや、課題解決にその表やグラフを活用するなどの工夫が必要である。